ぴっぴだより　No 13. 2015. 3. 18

2014年度の保育も幕を閉じようとしています。子ども達にとっても保護者の皆さまにとっても　スタッフにとっても　ぴっぴが大切な時間として日常の中にあったのでしょうか。子ども達一人ひとりのこの一年間を振り返りながら自問しています。子ども達の生きていこうとする力・伸びていこうとする力・知りたいと思う力・考えようとする力・関わろうとする力…を確心し、子ども達の育っている力がじわじわと、時に溢れ出てきている事にバカらの嬉しさを感じています。もちろん　それぞれに乗り越える力や踏ん張りが必要な事も確認し、来年度　ゆっくり時間をかけてその事と向き合っていきたいと思っています。が子育って「いつのまにか…」という事が本当に多いですね。大人が肩に力を入れなくても子ども達が自分の力で「いつのまにか」乗り越えていくのでしょう。私の家庭での子育て時代の経験では、子どもの課題だと思い込んでいた時は、なかなか現状が変わりませんでしたが周りにいる大人の、「この私の」課題だったんだなと後に気付くことも多かったです。「子育て」を「子育て三昧」と言ってみると何だか気持ちが落ち着きます。しばらくの子育て三昧をぴっぴの皆さんと楽しんでしまいましょう。そして来年度も、子どもも大人も育ち合っていく場として、関わり合い助け合い、刺激し合い聞き合いながら「ぴっぴの時間」を大切にしていきたいと願っています。

今年度　ぴっぴは新しい出発をしました。一般社団法人になり、土地を得て、建物も持ってしまいました。なるべく持ちものを少なくし　スリムに質素に、でも豊かな保育をしっかり考えられるような仕組みを大切にして始めたぴっぴでしたが　子ども達の帰る場所、居場所が同じように大切だと感じ至り、大きな買物を決心してしまいました。

皆さまに寄付をお願いし、今日現在　29800000円の目標額に近づきました。卒園、在園、新入園のたくさんの方からあたたかいお言葉と共にご寄付を頂戴し、お一人おひとりの思いが心に染み渡ります。本当にありがとうございました。『子ども達が思う存分遊び　関わり　生きる力を育み、大人達が育ち合うという理想の保育が難しくなったらぴっぴを閉じる』覚悟で日々、子ども達と過ごし、保護者の方と共に歩み、スタッフの学び合いをしてきました。ご寄付を通して皆さまの思いを受けとった今、『ぴっぴ廃園にならないよう、理想の保育が続くよう、そのための努力を命がけでやろう』と覚悟しました。そう思わせていただけた事、皆さまに「心から　ありがとう！」です。

子ども達の冬の小さなでも豊かな物語を少しだけ話しました。一つひとつの場面を想像し、30人一人ひとりの成長を感じご一緒に喜んでいただけたら嬉しいです。
ぴっぴの子ども達、宝石のような一日一日を一緒に作ってくれてありがとう。
昊瑛くん、奏くん、せっちゃん、遼雅ちゃん、平蔵くん、「ただいま～！」って遊びに来てね。待っています。
保護者の皆さま、いろいろな角度から支えて下さってありがとうございました。
本日、皆さまにお渡しした　子ども達一人ひとりの育ちのカードは　5人のスタッフが何度も話し合い　確認しながら　文章化していきました。手分けして書いていますが5人の思いが詰まっています。この一年の育ちを振り返り　またその事を分かち合う機会があったら嬉しいです。

：眞弓

入園の集いのご案内

新しくぴっぴの仲間になった皆さんと共に　親子一緒に楽しい時を過ごしたいと思います。

日時　　4月8日(水)　登園　9時～9時15分
　　降園　12時半頃

場所　　ぴっぴの森

持ちもの　　いつもの着がえなど、雨具　帽子、温かいお茶
　　親子分のお皿、お椀など、お箸かフォークスプーン

※ 入園の集いに小学生が参加される場合、ランチの準備がありますので予めお知らせ下さい。なお300円が必要となりますので、ご持参下さい。

一つ大きくなる喜びと共に登園してくる子ども達に会えるのを楽しみにしています。好い春休みになりますように。

三学期のエピソード少しだけ…

- 敬称略
- 日にち順

(慎)(しんこん)・(ど)(どんどり)・(ス)(スタッフ)
(松)(松ぼっくり)・(和)(わこん)・(夏)(ほしこん)
(おく)(おおくり)・(く)(くり)

- 雪がまぶしいくらいに お陽様が照り. 風もなく穏やかな一日. (朝)が(悠)を. (平)が(修)や(行)を. (真)が(な)を. (理)が(心)を. 各々そりに乗せて引っぱり. その後ろで(律)がそりを手にしてついて行きます. 引っぱる事. 乗る事を楽しんでいて 役割を交替することなくそり遊びを続けていました.

- (蒼)と(慎)が仮面ライダーごっこをしていると(律)が近くにいたので(慎)「助けて〜!」と声をかけると(律)はにこにこしながら「助けてやんなーい!」「どかーん! どかーん!」と鉄砲の真似をしたり. 「まけないぞ〜!」と雪を投げたり. (蒼)と盛り上っています. (咲)と(慎)で雪を投げて応戦すると いたずらっぽい顔をして(律)「全然 ぬれてな〜い!」と繰り返し. ひょうきんな表情いっぱい.

- 朝からずっと. ほうきを手に持ち. (平)(遼)(七)(陽)(理)は. スケートリンク作りに力を注いでいます. (平)は(奏)と関わりながらも 一ケ所を掃き丸くしリンクを作っています. ひたすら. 座りこんで作っています. (平)「ここはあんまり滑らないから ひっこすることにした」と5m程離れた所でまた掃いています. その5m程離れた所が. ずっと(遼)(七)(陽)(理)がきれいな丸にしています. その3つが並んでいつのまにか「スケートリンク通り」と呼ばれています. (七)が作り出すリンクのへり(5cm高さ位)が美しく. お部屋のイメージになってきたのか 5人は切り株や重いテーブルを運び入れ. へりに棒を2本立て(蒼)「窓を作りたいから ダンボールとひもを2本下さい」 すてきなガラスのようなものが登場してきました. そこに(白)や(松)も 出たり入ったり… ようやくごっこが盛かりました.

- 朝 おでこに水玉模様のテープを貼って登園の(白). (理)「バンドエイド?」(白)「ううん」と首を横に振り (理)「ねぇねぇちゃんか お兄ちゃんに貼ってもらったの?」(白)「ううん」(理)「えーっ? 自分で貼ったの?」(白)「うん!」とにっこり. (理)「おもしろいね〜. かわいいね〜」と言われるとさらににっこりの(白)

- そりを持って滑る場所を物色していた(修)(行)(悠). その途中 (修)「この足跡 うさぎ? でも少しうさぎより長いね カンガルーかな?」(悠)「そんなわけないでしょ. カンガルーはオーストラリアだよ」(修)「でも カンガルーっぽいよ」としばしじっくり足跡を見つめる. (行)「カンガルーいるわけない!」と(悠)と声をそろえるので (修)もそり遊びに向かいました.

- 大多数の人がそりで遊ぶ中 ぴっぴの庭には「じばちゃんの雪だるま」を作っている(蒼)と(律). 「楓ちゃんお母さんのおうち」にいる(咲)(白)(楓) そこへサッカーボールを一周蹴って合流の(琳). (楓)「さっちゃんがお母さんで おにぎり作ってあげるから」とお皿やボールに雪の固まりがたくさん. (楓)「白ちゃんのおにぎりは何入ってるの?」(白)「こんぶ!」(楓)「咲美ちゃんのは?」(咲)「ぶどう」(楓)「ぶどうおにぎりっておいしそうだよね〜」(白)(咲)は「うんうん」とうなづいています. たてこんの木の板を「剣」と. 握りしめている(白)に(楓)「一つまぜまぜするのに使っていい?」(白)「やだ!」と大きな声 しばらくすると(白)「これいいよ」と一本を(楓)に差し出した. (楓)「ありがとう!」(理)も加わり. 茶色に. 変わっているいラサキシキブの実を入れたおにぎりがたくさん! 板の折れたいラサキシキブの木を(理)がくんくん嗅いで「いいにおい!」 みんなでくんくんして「これもおにぎりに入れたらおいしくなる!」

- (楓)「おへそがかゆい!」と言ったことから (果)や(遥)がお腹をまくって(楓)のおへそをのぞきこみ (果)「ねずみがいるんじゃない?」 誰かが「チュー!」と同調し. 「あっちへ逃げた!」とねずみ探しごっこに. 一緒にいた(翔)と(悠)が「この穴の中かも?」と次々穴をのぞいたり. (遥)(礼)(律)は「ねずみたちチーズを作ろう!」と雪玉チーズを穴の前に並べたり. (果)(白)もついて行っては「ここかも!」と穴を次々探して「あ! ここにいる!」

- (空)の泣き声が森に響きました. (空)(礼)のサッカーボールの取り合いのようです. (礼)が一人占めしたいのですが泣いている(空)の頭をなでている(琳). 「そうだ!」という感じでもう一つのサッカーボールを取りに行き(空)に渡す(琳). (空)「イヤだっ! ダメっ! ワーン!」(又)「琳くんやさしいね. ありがとう!」(礼)「れいくんも少しだけやさしいよ」と(琳)が持ってきたボールを渡そうとし. 逃げる(空)を(琳)(礼)が追いかけ. いつのまにか遊びになっていました.

・崖でのそり滑り。(行)(後)がどんどん滑ります。去年こわがっていた(明)(後)も積極的。同じく遠慮がちだった(昊)も今年はたくさん滑っています。(武)(れ)は昨日に引き続き、何度もお尻で滑りと言うより転げ落ちるように下りてきて、帽子もまっ白、雪だるまのようになってハーハー言いながら楽しんでいます。(遼)(せ)(理)は三人乗り。足元が滑るのでなかなかうまく乗れません。(せ)「これなら一人ひとりのほうがたくさん滑れるんじゃない？」(遼)「3人でやったほうが楽しいの！」(理)が崖登りに苦労していると(遼)「雪のいっぱいある所を登って！そのほうが滑らないから」(せ)「がんばって！大丈夫だよ。木の根っこにつかまって！」(後)「おれが最初に作ったコース！」と言う岩のジャンプ台。けっこう激しく飛びますが(行)(後)(悠)(明)はへっちゃら。(又)「すごい！」と(明)に言うと「かっこいいでしょ！」と得意満面。

・(後)(武)(陽)で雪だるま作り。(後)(武)は、自分の身体ほどの大きな雪だるまを汗びっしょりになって転がします。(琳)は、(又)が作っているそばに来て雪をぺたぺたしたり一緒に転がします。2つ並んだ大きな雪だるまがくっついているのを見て、(後)「お父さんとお母さんがチューしてるみたいだね」

・崖登りに行く(後)(武)(遼)(明)。(明)「袖が濡れてしまった」と落ち込んでいると、(武)「向こうに大人がいるから行っておいで！」(明)「一人じゃいやなの！」どちらが大きい人かわからないぐらいです。(武)の後を追って崖の上のそのまた上へ行く3人。高い崖からのお尻滑りも(武)が助言しています。4人でもみじ谷までぬけて行き雪が多く足跡の少ない所を大はしゃぎで遊んでいました。(明)「ちょっとあーちゃん、女の子一人じゃない！もしトラが来て女の子がおられたら男の子逃げどうするのよ」「じゃあ、いいよ。オレたちが木を倒してやっつけてあげるよ」と(武)が応えていました。

・今朝もマイナス10度の寒い朝。(和)が焼きりんご用のりんごを切っていると、「冷たくないの？」「手が寒そう」と(理)(せ)(後)が次々のぞいていきます。ラジオ体操「いい匂い！今日は何？」と(まお)(空)(礼)が時々立ち寄ります。オーブンキッチンの嬉しいところ。りんごを切ると、(和)「あら困った。偏ってて足りなくなるかしら」(理)「3こづつっていうのを2こづつにしたら足りる？」(和)「そうねえ。どんぐりさんだけ2こづつってするかなあ。それとも大人ががまんするかなあ」(理)「大人はがまんできるから。なしっていうのは？」(和)「えー大人も食べたいよ～」(せ)「大人は大きいから お腹もすくからかわいそうだよ」(理)「そうか！かわいそうだね。じゃみんながまんしよう」

・急斜面でそり滑りの(行)(昊)(後)(陽)(悠)(朝)(武)(蒼)。途中からかなり急坂の斜面に移動しました。(昊)が(行)と、新たなルートを作ったり、後ろ向き、連結して並ぶ滑りなどおもしろい滑り方を試し、雪まみれで林へつっこんでも大笑いでみんながおもしろいやり方を真似します。急坂のロングコースでは、最終地点の雪山の上に、雪玉の「シュークリーム」を乗せて猛スピードで下りてそれを取れたら一点！とルール作り。(後)がコースどり、そりのコントロールが抜群に上手く、(陽)はじーっと見て「あそこでこっち側に体を出すと曲がるのか!!」とどうしても途中の木につっこんでしまう(陽)は負けん気発揮。何度かチャレンジしてとうとうカーブを上手く曲がるのをマスター！「できたじゃん！」「やったね！」と一緒に喜ぶ(昊)(後)とハイタッチ！男の子達と休まず滑り続けて真っ赤な顔で汗だくの(陽)「シュークリーム」も2個ゲットしました。(陽)「あーほんとにたのしかったあーっ!!」(朝)は滑らずシュークリームの台やシュークリームを難しい場所へ設置しては、みんなに「これ無理だろ！」(行)「朝ちゃんも滑ってみたら これじゃ凧ってわかるよ」(昊)「ほんとは怖いんだろ？だから滑らないんだろ？」面と向かって言われ、間を置いてうなづく(朝)。(昊)「オレも前怖かったけどやってるうちに面白くなっちゃったから」信頼している仲間の中でちょっと隠しておきたいような気持ちを正直に出し合う二人でした。

・(明)(心)がぷんぷん怒りながらやって来て「しんこんが作ったすべり台を(奏)(朝)がこわしてる！」遠目で見ると何か作っているように見えたので(慎)「怒っている気持ちを(奏)(朝)に伝えたら？」(心)「(奏)はこわいから」(明)「強いもんね」(慎)「一緒に行ってあげるよ」と2人の所へ。(心)「こわさないで！」(明)「(慎)が作ったんだから」2人はきょとんとし(奏)「これ少し壊れてるからかまくらにしてるんだよ」(心)「えーすごい！」と表情が一転。どんどん穴を掘ってる2人を見て(明)「すごーい！男の子ってやっぱりすごーい！」と大喜びしている(心)(明)。そこに(礼)(空)(果)(大)が加わり、(朝)(奏)が貫通させた穴を通り抜けますが身体が大きい(奏)だけ、途中で詰まってしまうと、(礼)「奏くん通れないの？なんで？」と不思議そうでした。(奏)は、しばらくどん詰まりと遊びました。

・ひっぴに親の方がお土産に栗まんじゅうを持ってきて下さった日。ラジオ時に出そうと、数えていると(果)(琳)がやって来てじーっと見ています。大きい人達が通りがかりに何人も「美味しそう！」「やったあ！」と言っています。突然(心)の大泣きの声。近くに(果)(理)が立っていて(理)「どうして泣いたか知ってるよ。(心)と(理)でおまんじゅうを作っていて(果)が置いてあった(心)のおまんじゅうを踏んじゃった」(果)(心)に確認すると うなづき(果)は「だいじなおまんじゅうが踏まれて悲しかったんだって」と伝えると、(果)は、(心)の顔に自分の顔を近づけて「ごめんね」としっかりあやまりました。(又)「許してあげられそう？」(心)「うん！」(理)(心)(果)でおまんじゅう作りが始まりました。(琳)(蒼)(律)も作り始めました。(果)(理)「栗まんじゅうでーす」と売り声が聞こえてきました。

- 理 陽 心 が「けいどろしよう!」と誘いに来ました. 未 遥 も「入れて〜!」そして 明 武 真 な 蒼 も「入れて〜!」 ライ 律 空 も「入れて〜!」 と もルールがよくわかっていて. 一緒になって遊べます. けいどろ → あぶくたったにえたった → うめとさくら → 花いちもんめ と. たっぷり遊びが続きます. 途中で 平 修 悠 も入ってきました. ライ は「鬼になりたい!」その都度. みんなで「待っててね. 捕まったら〜だよ」と声をかけられ. 鬼になるのを楽しみに加わっています.

- お散歩の途中. 帽子が脱げて 空 が涙になると 陽「仕方ないなあ」とかぶせてあげています. 律 琳 蒼 が歩いていると. 琳 が尻もちをつきました. 蒼「痛そう. 大丈夫?」 律 は「転んでも痛くないよね」と声をかけていました.

- 紅葉谷で崖に向かって登り始めた 翔. 何回もチャレンジしている 未 は 翔 について行きます. 下りる時. 翔「低い所から滑れるけど 高い所からはちょっと…」未「何で?」翔「低い所からなら滑ってもいいよ」未「わかった!」2人はかみ合っているのかいないのか…. 未 の勢いに 翔 も刺激されつつ お尻滑りを楽しみました. 崖を登ろうとしていた 律 が足を滑らせ そのままの体勢で落ちてきました. ちょうど股のところに細い木があり止まりました. 男の子だったら痛かったかも…と 翔 と 久 が心配していると 律「ぜんぜん痛くないし!」

- 朝の集まりの時 ♪オニはうちでひきうけた♪ を歌うと. ♪オニはうち〜♪の歌を聞いていた 颯「オニは〜外〜でしょ! まちがってる!」 果 も「オニは〜外, でしょ!」 ど には?? な歌でした. 久「おもしろい歌なんでしょ」と説明すると 颯「なんだ. まちがってるって思っちゃったよ!」

- バケツに水を入れたい 未. 蛇口をひねっても水が出ず「出ない! 出来ない!」と涙. 近くにいた ライ がやって来て 水抜きのバルブをひねると 水が出ました. 泣き声に. 理 心 もやって来て 理「ライリアくんは. どんどりさんなのにすごいね」バケツに水が入って 未 は 嬉しそう….

- お片づけの鈴が鳴っていますが遊びをやめようとしない 五 と 咲. そこに 昊 平 が来て「鬼は外って豆まきするよ. 豆食べるんだよ」とていねいに説明します. 2人は片づけ始めました. 咲 は 丸になる時も地面のお豆を拾い続け. 他の子にぶつかられても 拾って食べていました.

- この前作った雪の家? を直している 明 真 な 蒼. 大 と 琳 は. 穴をくぐったり登ったり. 雪を積みあげて高くしようとしている 4人は「まだ上らないで!」「崩さないで!」と少々困っている前. 隣に 琳 は「やらないで」と言われると. 逆のことをやろうとします. 戻ってきた 五 は 明 のにぶりを真似て. 「コラ!」「やめなさい!」 それでも 明 と水を汲みに行き. 泥々の水をかけ な「あーあ チョコレートの家になっちゃったよ」と言われても にこにこの 琳 穴をくぐっては上るをくり返す 大. 二人は大きい人達の家作りに混ぜてもらって嬉しそう. 理 心 のケーキ屋さんでケーキを買ってきては. 明 母さんに「あーんして」と言われ嬉しそうに口を開けている 五 大 琳 でした. 空 颯 礼 果 も混ざり. ケーキを食べた後. 礼「宝ものを探してるのよ」とざっくりざっくり どっこいしょーとシャベルで掘っている 礼 と 真 の海賊船ごっこがそのうち劇遊びごっこになり. 「海賊船のショーです!」と司会の 明 は大はりきり. 明「はい. コメディやりたい人! はい大ふくろうやりたい人!」と仕切って お客さんを前に楽しそうな劇ごっこが続きました. お客さんは 五 果 颯. 空 礼 は海賊の役に混じっていました. ど 達がよく歌を覚えていてびっくり! な のライオンショーも観てから. ランチに入りました.

- 墨 が3週間ぶりの登園. オーストラリアからの帰国だったので 久「寒くない?」墨「大丈夫!」と笑顔で待ってましたとばかりに. 遊び出しました.

- 朝の集まりのあと. さっそくバケツを持ち 遥「今日も氷探しに行こう!」と 久 を誘いに来ました. 遥 優 遥 と崖の方へ出発しました. 3人は. どんどん登って行きます. 紅葉谷は. キツネ. リス. うサギ. ネズミの足跡がいっぱいで動物園がかけ回って楽しんでいた様子が想像でき. 「すごい!」「いっぱいだね」「楽しそう!」と感動の声をあげ. しばし行んでいました. そのうち足跡を辿り どこへ行ったのか どこに住んでいるのか 探し始めました.

- 朝の集まりの後. お散歩へ. 「ぴっぴハウスの前で待っていてね」と声をかけただけですが全員がぴっぴハウス前のデッキに座って 大人の到着を待っている姿が お行儀よく. 楽しみで. 何とも かわいらしい. 肩を組んでいる人もいます.

- 昊 平 武 真 遥 が戦いごっこ. 五 と 対 松 のようです. あたりどうが悪かったり. 張過ぎたりして. 何度か 松 は. ちょっと涙になり. 少し中断するのですが復活し. 戦いごっこが続きます. よっぽど楽しかったのでしょう. ランチもそのメンバーで一緒に座り. 食べ終わるのが遅い 武 遥 を「まだ〜?」と様子を見に来て待っています. みんなが食べ終わり 森で5人 揃うと. 「よしこれで全員揃った!」と 昊.

・そりに林 礼 ライ 大 を乗せて引っぱる明. 4人はまみくちゃになっています. 理が明を手伝うと 大もそりを引っぱる側に. 大はそちらの方が楽しそう…. そのまま海賊船のブランコの方へ. 礼 大 林 ライは.我れ先にブランコに乗ろうとしぐちゃぐちゃになっています. 久「順番にしたら?」と伝えると. 大が「1. 2. 3…」と数え始めました. すぐにみんなが列になり. 一緒に10まで数え出し. 礼→大→林→ライの順でブランコに集っていました. 何度かやっているうちにライは別な遊びをするので抜けていきました. ライの番になり ライがいない事に気付いた大「ぼくライを呼んでくる!」と走ってライの所へ. 大「こっちでブランコしようよ」ライ「ぼく オオカミになったから関係ない」大「ブランコしよう」と何度も誘っていました.

・川コースのお散歩へ. その先の. 見るからに険しい高い崖へ. 上っていくみんな. 遥もさっさと登って行きます. いったん上った咲「やめとくー」と戻って行き. 五と棒を雪に突き刺して遊び始めました. 見つけた木の棒を雪に刺しては. また探し… カラマツの枝付きの何本かを刺すと 咲「森になった!」五も「いっぱい!」そうしているうちに平 墨 行 後らが わのすごい高い所からかけ下りてきて. 目を丸くして見ている五. 墨「ディズニーランドも 飛行場もぜーんぶ見えたんだよ. 上の方はすごーく高い!」行「佐久平とか 軽井沢とか全部見えたよね」

・悠が「リレーやりたい!」とバトンを持って来ました. リレーをやるには人数が少ないので かけっこをする事になりました. 悠 蒼 が並ぶと 礼「応援するんやる!」とコースの横に座り「がんばれ. がんばれ」それを見て大も一緒に応援. 悠 蒼 が走り終わると. 礼「れんもやる!」と大と2人で競争. それを見てやりたい人も増え. 悠 蒼 真 礼 対 後 遥 武 大 空 でリレー. 悠と後が順番の話合いの中心. 悠が2回走ることを名乗り出る. 悠チーム が勝ち. すぐに遥「大 遅いから負けたんだ!」と叫ぶ. しーんとするみんな. それを誰もとがめる事もしないが同調する事もしない. 也 遥 が「入れて〜」と加わったのをきっかけに. 後「チーム替えしよう. 空がトップバッターに 決まると. 同じチームの後「空太くん. 一番前で待ってね. 2番とか決めるからね」とこわいに伝えている.

・後 墨 の雪滑りについていった空 林 は 一緒に滑ってもらったり. 脱げた靴をはかせてもらったり…. 大満足の二人.

・朝からリュックを しょって「学校 行くの」と明やしゅ. 悠は行に「一年生から六年生までいるんだよ」と聞くと. 悠「オレ6年!」武「オレ3年!」空 礼「一年生になろう!」リュックを取りに行く空 礼. 五も「がっこ いく」リュックは いいと首を振りついていく. 真が先生になり. 「それでは一時間目を始めまーす!の声に目を輝かせる 行 悠 な しゅ 陽 明 武 礼 空 五 ライ 音楽の時間には 歌を歌い. 国語の時間には. ノートに見たてた各々のシートに字を書きます. 「自分の名前を書きましょう」に 也 遥も集中して書いています. 算数の時間. 真「1+1は?」明の手があがります. 明「うーん. お母さんのお誕生かな?」(すごい!!) 真「りんごが3つあって. お父さんが1つ食べました. まゆさんも1つ食べました. 残りはいくつでしょう」の問題には. く 遥の手があがります. 給食の時間に 真「給食当番の柳澤くんと近藤さんが ハンバーグを配ります」「近藤さんって?」と空 礼がきょとん. 雪のハンバーグをパクパクと食べたら空「あー お腹すいた. ほんとのごはんが食べたいよ」好きな歌を1つ歌うという宿題をもらって 家に帰ると 颯「さっちゃん 学校行ったことあるよ! いーれーて」 礼「宿題のおうた うたおう!」「何の歌にする?」「鬼のパンツ!」なぜか 礼 空 颯 みんな歌える「鬼のパンツ」. じゃ寝よう! あ! お風呂に入んなきゃあ! 歯みがきしてない! と寝る支度をしているところへ また学校に集まり始めている真や くたちを見つけて. 颯「たいへん!」 礼「学校が始まってる!」颯「遅刻よ!」 大急ぎでリュックをしょって学校へ行く也 遥. 礼「遅くなって すみません」と登校してきました. 颯は小さい声で「パジャマのまんまで来ちゃったね!」 次の日は遠足. よっぽど楽しそうに見えたのかあわてて リュックを取りに行って ついてきた林と大でした. 楽しい学校だったでした.

・川コースの険しい崖へ再び… 小川のところへ到着すると遥「崖の頂上からはね. 町が見えるんだよ」と登ったことのない也に説明しています. 武「ディズニーランドも見えるよ!」也「え? ほんと?」 遥「行ってみようよ!」明 後 求 武 蒼 もついて行きます. 登りやすいのですが距離も高さもあります. 先頭の遥 也 明は早い. 高い所が怖いのについてきてしまった蒼. 下りるのも怖いようすみんなに追いつこうとしています. 半分泣きながら「怖いよー」「あと少し あと少し」と言いきかせながら 何とか登りきりました. 求「佐久のばあちゃんちも. 茨木のばあちゃんちも見えた!」也「ディズニーランドは見えないねー」 少し歩いてみるとあちこちに シカの糞. 「こんなにまで登って来てるんだね」とみんな感心. 後から平 蒼 墨 心 行 墨 が登ってきました. 下りる時 慎重な墨. 途中心が少しころがり落ちると 墨「おにぎりみたいに落ちるとあぶないよ!」心「おにぎりじゃないよ! 心美だよ!」へっちゃらな心でした.

・空「まゆさん. どうして ここにぴっぴを作ったの?」 也からのすごい質問….

田畑だより

御代田の田んぼはもうすっかり雪も解け、暖の陽だまりにはオオイヌノフグリの花が一面に咲き、畑の小麦や玉ねぎの小さな芽もすっくと空に向かって青々背伸びしています。田んぼにはまだ少し凍った水面をついばむ鳥たちが集まっています。冬の間もずっと水を入れていた田んぼには、少しずつ隅々まで春のエネルギーが満ちあふれてきているようです。

よく畑では、続けて同じ作物ばかり作ると、その作物が必要とする栄養が足りなくなって「連作障害」を起こし野菜が採れなくなりますが、田んぼは毎年同じようにお米ばかり作っていても、栄養が足りなくなって採れなくなるとは聞いたことがありません。なぜでしょうか。特に私たちの田んぼには肥料も入れていませんし、どうして毎年ちゃんとお米が採れるのか不思議に思い、近くの物知り農家さんにうかがってみたことがあります。「そりゃあ、わき水は人間には気の遠くなるような長旅をしてきているからさ、その途中でたーくさんミネラルやら山の栄養をどっさり抱えて田んぼに流れ込んできてくれるってわけさ。人間がちょっと手を貸すだけでお米がたーんとれるような養分運んできてくれんだから、水ってえのはすごいんだよ！」なるほど、「わき水」に栄養の源があったのですね。浅間山麓の山々に雨や雪が降り、何年もかかって少しずつ集まりわき水になるわけですが、その途中には木の葉や森の恵みが堆積した大地をフィルターにして通り、たくさんの養分を含んでいるというわけです。田んぼでお米が豊かに実るためには、山も大地にも大切な役割があるのですね。

4月に入るとすぐ、お米の種もみを水に浸し、いよいよ苗床作りが始まります。また春から田んぼに通って、来年度もたくさんの田畑の恵みに出会っていきましょう。

：美和子

ぴっぴの森の動物たち　あしあとだ～れだ（3月 タヌキ）

動物たちの足跡は雪の上が目立ちますが、春になってくると泥の上でもみることができるようになります。今年度最後の足跡は昔から人間に近い場所（里山）で暮らし民話や昔話などにもよく登場するタヌキです。タヌキの足跡は梅の花のようでまた、以前書いたキツネのようにまっすぐではなく、じぐざぐと寄り道したようにあちこちに足跡が進んでいくのが特徴です。その歩みになんとなく親しみを感じるのは私だけでしょうか…。

1年にわたって軽井沢に棲む動物たちの足跡や暮らしぶりを紹介してきましたが、いかがでしたでしょうか。野生動物の姿をみることはなかなか難しいですが、足跡をみることで彼らの存在、生きざまがみえてくるのではないかと思います。この森の中で子どもたちとともに動物たちも日々暮らしていることを感じてもらえたら、とても嬉しいです。

また春から森の仲間たちを紹介していきますね！お楽しみに♪　：菜々恵